

あけぼの

西部地区社協だより

第 63 号

発行日 令和6年9月30日
 発行 西部地区社会福祉協議会
 事務局 鎌ヶ谷市くぬぎ山4-2-46-10
 (くぬぎ山コミュニティセンター内)
 ☎&FAX 047-389-6061
 編集 広報啓発委員会

「あけぼの」

振り返ってみて



渡部広報啓発委員長

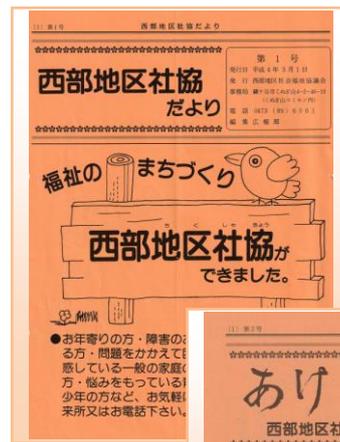
皆さん、こんにちは。広報啓発委員長の渡部です。今回は我が広報誌「あけぼの」の歴史について一言。福祉のまちづくりを合言葉に、スタートは平成4年3月以来、約30年以上に渡って愛読されて来ました。この間世の中は平成から令和に移り変わり、さまざま出来事がありました。

2011年の東日本大震災・コロナ禍での東京オリンピック開催等が代表例です。今後共関係者一同より一層地域の発展を目指して頑張っていく所存です。

ここで西部地区社協の会長を6年間務められた小島前会長よりコメントを頂いたので御紹介します。

「脳トレプリントの配付や高齢者のコロナワクチンの予約のお手伝い、在宅老人の電話でのケアお伺いなど事務局ともども苦労した事が思い出されます。今後は少子高齢化と言われ幅広い世代交流が必要となりますが、是非地域交流を続けてもらいたい。その中で「あけぼの」の役割もますます重要になってくると思います。」

今では時代の流れに乗り、LINEを使った情報発信も行っています。是非お友達追加してみてください♪



記念すべき第1号の社協だより!



「あけぼの」と名称が決まり発行されたのは第2号からです。「あけぼの」は『将来に向かって明るい希望の光が射す夜明け』とイメージをして付けられました。イメージ通りの広報誌であり続けたいと思っています!



43号からは、カラーの紙面となり、より見やすくなりました。

そうだ、落語へ行こう！！

「鎌ヶ谷と馬の深～い関係



天下統一への布石 小金牧」

天正18年（1590）、豊臣秀吉は小田原攻めの後、徳川家康に北条氏の遺領である関東への国替えを命じます。これに対し家康の家臣団は「断固一戦交えるべし」と猛反発。どうする家康！？

しかし、家康は時期尚早と判断し、天下統一を目指していくつかの布石を打ちます。その一つが軍事力の主力となる軍馬を安定的に確保するため、鎌ヶ谷市域を含む下総国（千葉県北西部）の地への小金牧の設置でした。

「鎌ヶ谷と金原亭 大名跡「金原亭馬生」誕生！」



＜金原亭 馬治＞
H27年に真打に昇進

文政2年（1819）2月、前松前藩主が小金牧の駒を使い、2日連続で浅草・鎌倉間2往復の遠馬を成功させ、滝沢馬琴に駿馬錦風記として記録させました。これで一躍、小金牧産馬の名声江戸市中に知れ渡ったのです。

そこに着目したのが江戸落語会の祖、山笑亭可楽の孫弟子で円遊（歌舞伎役者の4代目坂東三津五郎の実兄）。金原（こがねはら）から名馬が生まれるという縁起のよい洒落で初代「金原亭馬生」を名乗った、といわれています。

それ以降、「金原亭」を名乗る落語家は、名前の一部に「馬」の字を用いることを基本としています。「金原亭」は落語会の名門、サラブレッドなのです。

そんな金原亭の落語家「金原亭馬治」師匠をお迎えして、西部地区社協では落語イベントを11月1日（金）に行います！詳細は回覧版にて。お楽しみに♪



ラジオ体操は 月2回になりました！



毎月
第2・第4金曜日



令和3年5月コロナが流行り1年が過ぎた頃、全く地区社協の事業が開催出来ない中、何か出来る事はないかと考え、公園で行うラジオ体操をスタートさせました。

毎月第4金曜日に開催していたラジオ体操ですが、今年度より参加される方々による自主運営(準備と後片付け)を行うことで、毎月第2・4金曜日の月2回開催する事になりました。

青空の下、体を動かすのは気持ちがいいですよ～是非ご一緒に！

◆開催場所→くぬぎ山公園

◆時間→9時30分～9時45分

◆雨天中止☂

防災ボトルって何？

ボトルは100円ショップで揃える事もできます

災害は、いつどこで起こるかわかりません。旅行先や外出先・職場などで災害が発生してしまった場合に備え、各種グッズをウォーターボトルに入れた**防災ボトル**を持ち歩くのはどうでしょうか。コンパクトに収納できるので、カバンやリュックサックに入れても気にならず、防災力を高めることができます。



全てボトルの中へ

何を入れる？

500mlのボトルに現金・薬・連絡先・ホイッスル・ミニライト・ウエットティッシュ・圧縮タオル・携帯用トイレ・絆創膏・ポリ袋・メモ用紙・ペンなどを入れます。つぶれにくいので、メガネも入れられます。また、ようかん・あめ等を入れておくのもおすすめです。



避難場所の
確認を！



※ 災害時のご家族の集合場所は決まっていますか？

ご家族で具体的な場所(例えば、公園の桜の木の下)を決めておきましょう。

西部地区社協の委員会紹介

今回は ボランティア育成委員会

【委員長の思い】

ボランティアというと、無償の「奉仕活動」と捉えられがちですが、本来は「自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する行為」を指します。ボランティア育成委員会の現在の活動は体操や講座などですが、参加者が多いのが嬉しい悩みです。委員会では、多くの人がボランティアに関心を持つ一助になればと考えています。鎌ヶ谷市の社会福祉協議会ではボランティア団体が登録されているので、関心のある方はぜひ。



佐藤委員長



中島先生
体操講習会

ボランティア育成委員会の 事業紹介



健康作りの会「わかば」



西部小学校「命の授業」

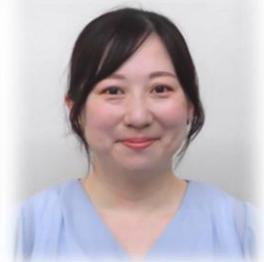
【西部地区保健師紹介】

はじめまして。今年度より西部地区の担当保健師になりました高山友梨香と申します。よろしくお願いいたします。

保健師は、民生委員・児童委員・保健推進員・ボランティアの方々と協力しながら、赤ちゃんから高齢の方まで、皆さんの健康づくりのお手伝いを行っています。

主な活動として、地区事業にて健康に関するお話や健康相談などを実施しています。何かお悩みやご質問がございましたら、お気軽にご相談ください。

皆様にも早く顔を覚えて頂けるように頑張ります。一緒に健康な生活を目指しましょう。



【編集後記】

広報を作成していて度々直面するのが、何を掲載しようか、マンネリになっていないかと言った問題です。いわゆるネタ枯れですね。しかし社協の活動は長年継続的に行なわれているものが多く、募集してすぐに締め切りなんていう大人気の行事もあります。そういった活動を分かりやすくお伝え出来るよう、広報委員会の総力を上げて頑張って参ります！！

はあ、でも悩ましい・・・

車イスをご利用下さい

いつでも無料で
ご利用いただけます



西部地区社会福祉協議会

くぬぎ山コミュニティセンター内

☎ 047-389-6061

(火)～(土) 午前9時～午後4時

※ 時間外は留守番電話

◆福祉の相談先がわからない時にはお電話ください◆